

第6章 長宮遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

長宮遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側をおりた一段低い立川段丘面に立地している。この低位の段丘面には「熊の山」と呼ばれた山林を湧水源とする清水が流れ（現在は排水溝として利用）、幅 100 m ほどの緩い小支谷を形成し、清水の北側左岸に滝遺跡、南側右岸に長宮遺跡が分布する。北東側は荒川低地の沖積地と接し、500 m 南側には福岡江川が流れ、標高 9 ～ 10 m 前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北 300 m、東西 500 m 以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

遺跡の西方には長宮氷川神社があり、この神社の縁起伝承には「長宮千軒町」として繁盛したが、戦国期に壊滅した旨が記されている。周辺の遺跡は、北側に縄文時代早・前期、古墳時代前・後期から奈良・平安時代の遺跡である滝遺跡、南側には飛鳥・奈良・平安時代、中近世の松山遺跡が隣接する。1977 年の保育園建設に伴う緊急調査で中世の屋敷地と思われる遺構

群を検出したのをはじめ、宅地造成などにより 2017 年 3 月末現在 53 ケ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は縄文時代早期後葉から前期・中期・後期前葉までの集落跡、南側の松山遺跡寄りに飛鳥時代の住居跡、中世末から近世初頭の屋敷跡や長宮氷川神社参道に關係のある溝跡などである。

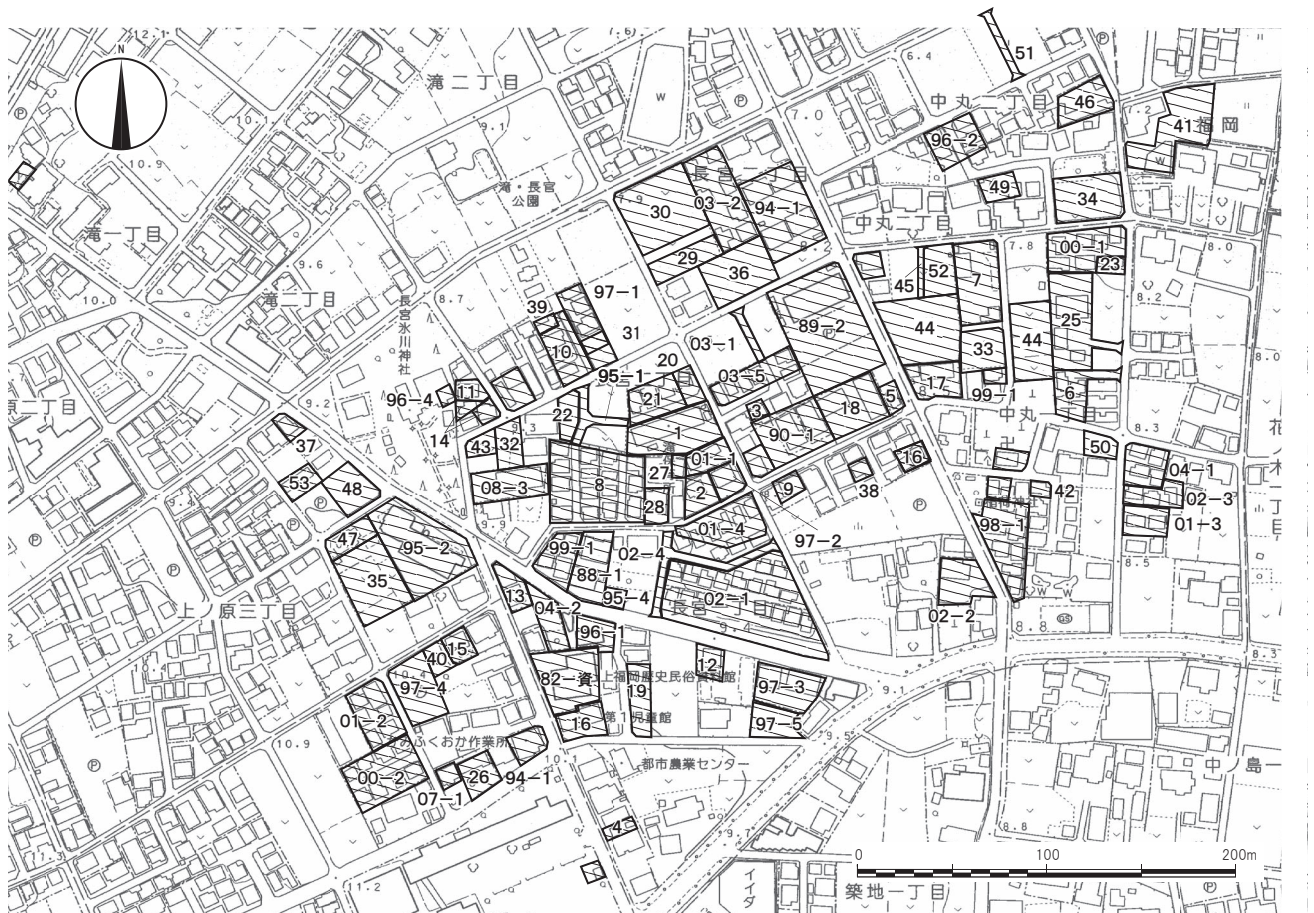
長宮遺跡第 44 地点の試掘調査および本調査については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第 14 集『市内遺跡群 13』（2015.3）で報告済みのため、本書では割愛した。

II 長宮遺跡第 48 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2014 年 3 月 3 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西端に位置するため、試掘調査を実施した。

試掘調査は 2014 年 4 月 2 日～ 8 日まで行った。幅約 1.5 ～ 1.8 m のトレンチ合わせて 6 本を設定し、重



第 17 図 長宮遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、井戸1基と溝1本を確認した。遺構確認面までの深さは約55～70cmであり、一部を拡張して調査を行った。出土遺物はない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構

【井戸】調査区の北側トレンチ2に位置する。平面形態はほぼ円形を呈する。規模は確認面径172×163cm、底径75×75cm、深さ181.4cmである。出土遺物は無く時期は不明である。

【溝】溝はトレンチ1・4で確認され、同一の遺構と考えられる。調査区の南東隅で「く」の字状に屈曲するとみられ、断面は「V」字形に広く開くが全容は不明である。規模は上幅150cm以上でトレンチ4で確認された。下幅は約30cm、深さは地表面から140cm以上である。

Ⅲ 長宮遺跡第49地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2014年9月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡

範囲の北東端に位置するため、試掘調査を実施した。

試掘調査は2014年10月23日～30日まで行った。幅約1～1.5mのトレンチ合わせて5本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った結果、炉穴5ヶ所を確認した。遺構確認面までの深さは約80～100cmであり、30cm以上の保護層が確保されるため、一部の調査を行った。出土遺物はない。

写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構

【炉穴1】トレンチ4に位置する。平面形態は不整楕円形を呈する。規模は確認面径55×39cm、底径12×8cm、深さ13.4cmである。焼土範囲は確認面径に同じで、全体に焼土が広がる。

【炉穴2】トレンチ4に位置する。削平とトレンチ外に延びるため全容は不明である。焼土範囲の規模は(36×8)cm、厚さ4cmである。

【炉穴3】トレンチ4に位置する。トレンチの断面でのみ確認されたため全容は不明である。焼土範囲の規模は幅31cm、厚さ13cmである。

【炉穴4】トレンチ5に位置する。平面形態は楕円形を呈する。規模は確認面径48×37cm、底径12×9cm、

第14表 長宮遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
25	中丸1-4-8	(2007.2.15・16)	1,161	個人住宅	ビット3、縄文土器・石器他	市内3
26	西原2-5-2の一部	(2007.3.28)	594	個人住宅	縄文土器片	市内3
27	長宮2-1-4	(2007.5.30・31)	175	個人住宅	溝。保存措置	市内4
28	長宮2-1-8	(2007.5.31～6.5) 2007.6.6～22	188	個人住宅	中近世井戸5、土坑10、ビット13他、縄文土器・石器、中近世陶磁器他	市内4
工事立会	西原2-5-31	2007.10.15	120	個人住宅		市内4
29	長宮2-4-6の一部	(2007.11.20～12.3) 12.4・5	618	共同住宅	土坑1、井戸2、堀跡1、溝5、ビット10、縄文土器、中近世土器他	市内4
30	長宮2-4-6	(2009.9.28～11.2) 11.4～12.8	1,362.10	高齢者福祉施設	中近世土坑、井戸、ビット8、溝2、縄文土器・石器、中近世陶磁器他	市内7、8
31	欠番					
32	長宮2-1-18	(2010.1.15～25) 2.4～26	271	分譲住宅	中近世土坑20、ビット142、溝3、縄文土器、中近世陶磁器他	市内7、8
33	中丸1-3-2	(2011.5.19～31)	534	分譲住宅	縄文時代集石土坑1、土坑4、ビット13、溝3、縄文土器、瓦器、陶磁器	市内14
34	中丸2-2-2、46	(2011.6.27～7.16) 11.2～12.1	914	分譲住宅	縄文時代早期炉穴、前期(関山)住居跡1、近世溝、縄文土器他	市内11
35	上ノ原3-1-4	(2011.9.9～26)	1,157.88	分譲住宅	縄文時代炉穴1、土器、石鏃	市内14
36	長宮2-4-3	(2011.10.4～17) 10.21～11.14	981	分譲住宅	中近世井戸16、土坑4、溝16、ビット20、板碑他	市内11
37	上ノ原3-6-6	(2011.11.8)	105	個人住宅	なし	市内14
38	長宮1-4-27	(2011.11.24・25)	101	分譲住宅	なし	市内14
39	長宮2-3-23	(2012.2.1)	130.54	個人住宅	なし	市内14
40	西原2-5-7の一部	(2012.4.16)	201	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	市内15
41	福岡字丸橋988-1～3、989-2～5,990-3	(2012.4.17～25) 6.11～7.25	1,152.62	分譲住宅	縄文時代炉穴10、縄文時代前期住居跡6、落とし穴2、土坑27、ビット190、溝4、縄文前期土器片、石器、近世陶磁器	市内12
42	仲丸1-2-24	(2012.7.31)	101	分譲住宅	なし	市内15
43	長宮2-1-72	(2013.2.27～3.1)	231	個人住宅	中世～近世溝2・土坑3・ビット17、土器、磁器	市内15
44	中丸1-3-3、1-4-5	(2013.5.14～6.24) 6.25～7.30	2,128	分譲住宅	縄文前期住居跡1、炉穴6、落とし穴1、土坑15、井戸5、溝9、ビット4、縄文時代前期の土器、石器、中近世以降の陶磁器や板碑	市内13
45	中丸1-3-17・18、3-5	(2013.8.7～10)	119	道路築造	溝2、土師器、石器、板碑	市内18
46	中丸2-22・13	(2013.9.6～10)	488	高齢者デイサービスセンター	遺構なし、磁器	市内18
47	上ノ原3-1-5	(2013.10.10)	330	共同住宅	遺構遺物なし	市内18
48	上ノ原3-6-1	(2014.4.2～8)	555	分譲住宅	井戸1、溝1、遺物なし	市内20
49	中丸2-2-4	(2014.10.23～30)	293	共同住宅	焼土跡5(縄文時代)、遺物なし	市内20
50	中丸1-2-17	(2015.3.16)	228	分譲住宅	遺構なし、陶磁器	市内20
51	中丸2-3-45・46	(2012.4.5)	176	道路	遺構なし、土器片1	市内15
52	中丸1-3-24	(2016.3.11～18)	484	分譲住宅	土坑1、井戸3、ビット6、溝2、遺物なし	未報告
53	上ノ原3-6-3	(2016.7.11)	223	共同住宅	遺構なし、土器、陶磁器	未報告



第18図 長宮遺跡遺構分布図 (1/2,500)

深さ4cmである。焼土範囲は楕円形で36×31cmに広がる。

【炉穴5】トレンチ5に位置する。攪乱により全容は不明である。検出部の平面形態は弧状を呈する。規模は確認面径50×26cm、深さ32cmである。焼土範囲は楕円形で94×26cmで掘り込みの外側にも広がる。

IV 長宮遺跡第50地点

(1) 調査の概要

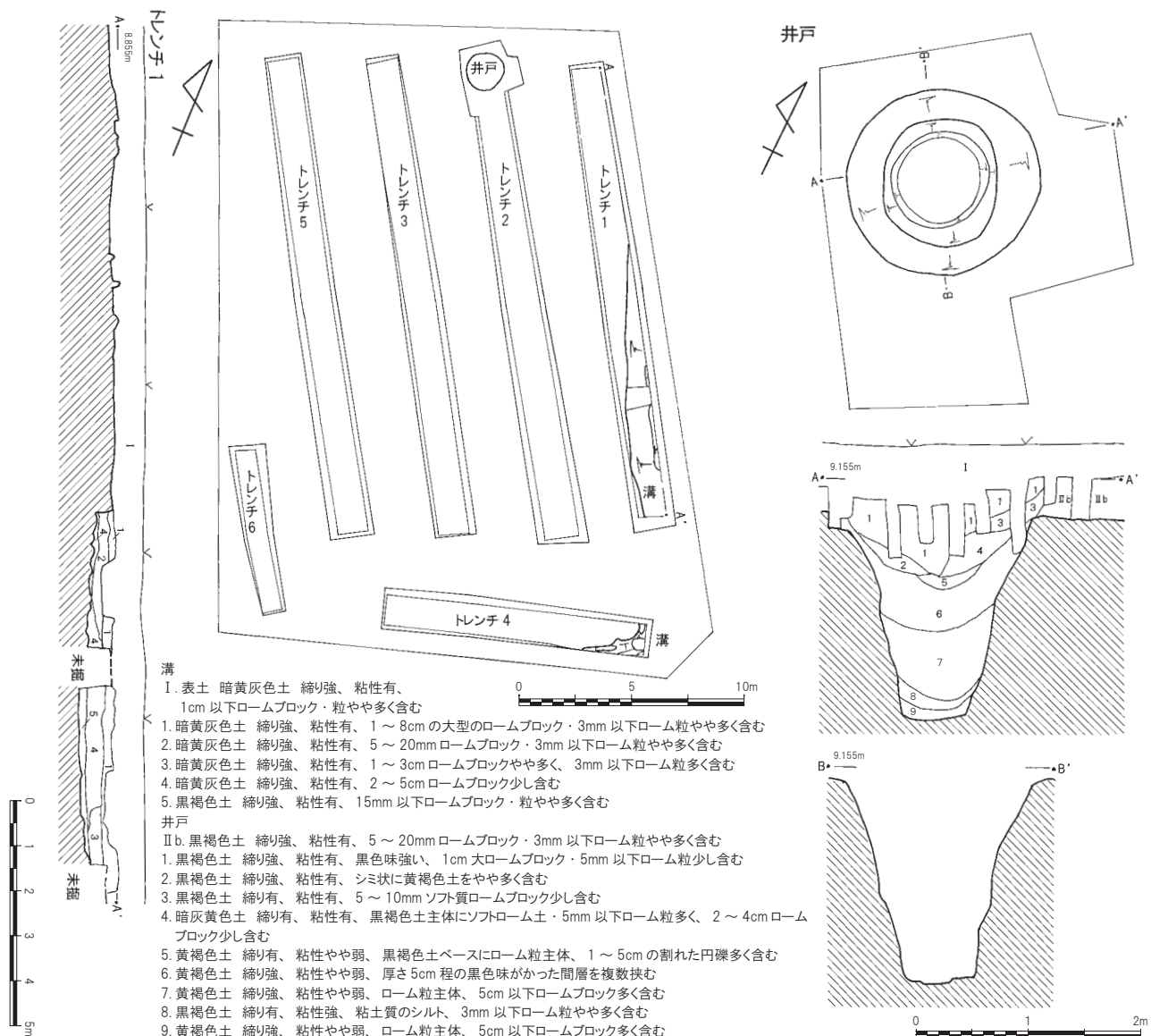
調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年2月17日付で「埋蔵文化財事前協議書」

がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置するため、試掘調査を実施した。

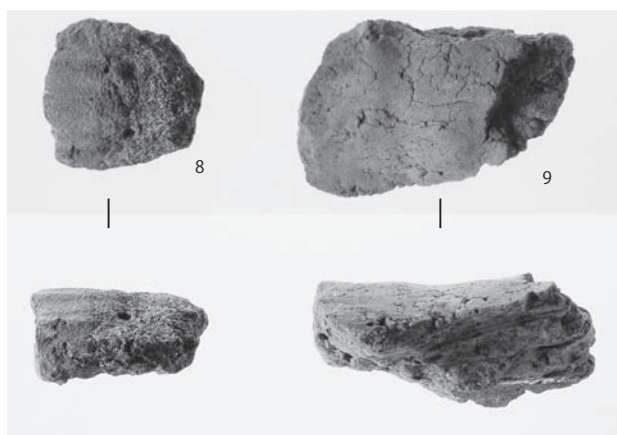
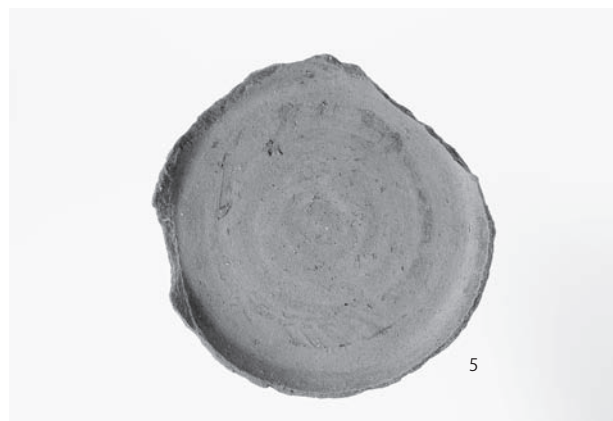
試掘調査は2015年3月16日に行った。幅約1mのトレンチ4本を設定し、人力で表土除去後、表面精査を行った結果、遺構として扱っていないが近世以降とみられる溝2本を確認した。地山ローム層までの深さは約60～80cmである。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋め戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。第21図1～6の遺物は全て表土層出土で詳細は第15表参照。

第15表 長宮遺跡第50地点出土遺物観察表(単位cm)

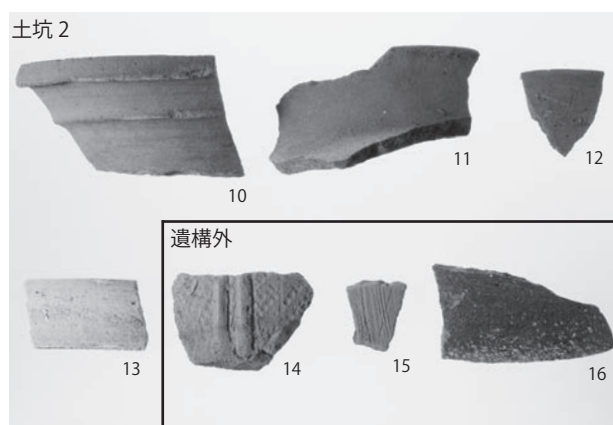
図No	出土遺構	種別・器種	口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ	技法・文様・その他	推定産地	推定年代
1	遺構外	磁器/丸碗	—	—	—	轆轤成形/染付、唐草文/只須発色悪い	肥前	18c～19c
2	遺構外	陶器/土瓶蓋	7.5	3.0	1.9	轆轤成形、つまみ貼り付け/上面灰釉、緑釉で文様、下面無釉、糸切り底	瀬戸・美濃	19c
3	遺構外	陶器/徳利	—	9.9	—	轆轤成形、削り出し高台/外面灰釉	瀬戸・美濃	19c
4	遺構外	陶器/鉢類	—	9.8	—	轆轤成形/内外面灰釉、高台無釉/内面に目跡	瀬戸・美濃	1800～1860
5	遺構外	土器/不明	—	—	—	輪積み成形、ナデ/胎土に小レキ・雲母を含む	—	—
6	遺構外	鉄製品/不明	(4.4)	1.4	0.6	鉄芯を銅板で巻く/片面に印刻有	—	近代



土坑 1



土坑 2



滝遺跡第 24 地点出土遺物



長宮遺跡第 48 地点調査風景



長宮遺跡第 48 地点井戸



長宮遺跡第 48 地点井戸



長宮遺跡第 48 地点井戸土層



長宮遺跡第 48 地点トレンチ 1 溝



長宮遺跡第 48 地点トレンチ 1 溝土層



長宮遺跡第 48 地点トレンチ 4 溝



長宮遺跡第 49 地点調査風景



長宮遺跡第 49 地点トレンチ 4 炉穴 1 ～ 3



長宮遺跡第 49 地点トレンチ 4 炉穴 1 ～ 3



長宮遺跡第 49 地点トレンチ 5 炉穴 4 ・ 5



長宮遺跡第 49 地点トレンチ 5 炉穴 4 ・ 5